

生活実感・労働実感にもとづく

その2

会社回答に対する声

合計賃上げが約21,000円と会社は言うが、初任給特別措置を算入してのこの金額なので騙されてはいけない。夏季手当の平均支給額も過去最高とはいふものの、果たしてどれほどの人数がこの額をもらっているのか！

要求とかけ離れているし、書面の見せ方も社員と騙そうとしているのが伺える。新卒や入社10年目までの手当というのはベースアップには関係ないし、平均に届いている一般社員は少ないのではないか。

会社は私たちをコマとしか見ていない。超勤している若手社員も、基本給が増えていないことから、実際はあまりもらうことが出来ていない。お客さまのご利用は間違いなく増えている。会社はもっと出せるはずだ！

社員の頑張りや物価高にも関わらず、夏季手当は+0.1ヶ月。ベアは職制関係なく一律であるべきなのに格差ベアであり、昨年よりもその差は大きい。到底納得できない！安全もサービスも低下し、お客さまは本当に怒っている。現場は頭を下げることしかできない。それではモチベーションも上がらない。

世代間を超えて社会的影響（物価高、税金等）は等しく全員にかかる。ベアに職責の差はおかしい。夏季手当も低く、会社は“出した感”を出さないで欲しい。社員を大切にしない会社は、しわ寄せが現場に現れるし、現場社員の意識が自分の事だけになれば、安全や品質を守るための連携が壊れてしまう。このままで良いのか！

交渉日程の間隔が短く、超早期回答であることから、会社は“熟慮する”とはいふものの満額回答を示そうとする誠意が感じられない。社員は早く回答を聞くよりも、“納得する回答”を求めている。

会社回答の基本給改定の平均額は、ほとんどの社員が届かない金額である。人材を集めるための世間体を気にしたものであれば、入社後に絶望と離職を生むだけだ。

会社回答への率直な声を教えてください！